

平成21年6月11日

平成20年度決算短信

丸善石油化学株式会社

平成20年度（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）決算概況

当事業年度におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機の影響が世界的規模で拡大したことにより、景気後退が鮮明となり、企業収益が大幅に減少するとともに、設備投資の減少や個人消費の低迷、雇用情勢の悪化など厳しい状況となりました。

石油化学業界におきましても、世界的な景気後退がこれまで好調を維持していたアジア市場に波及し、中国を中心とした急激な需要減退により、各社のエチレンプラントは相次ぎ生産調整を余儀なくされ、2008年のわが国のエチレン生産量は前年比11.1%減の688万トンと、13年振りに700万トンを割り込みました。

このような経済情勢のもと、当社は引き続き積極的な営業活動を展開するとともに、経営全般にわたる合理化、コスト削減等の収益改善に取り組んでまいりましたが、上半期は原油・ナフサ価格の高騰に伴う収益性の悪化、下半期は世界的な景気後退による需要減退に伴う生産調整や原油・ナフサ価格の急落に伴う販売価格の低迷、外国為替相場の急速な円高による輸出の採算性悪化により、売上高・損益ともに大きく落ち込みました。

この結果、当事業年度の製品販売数量は前期比16.9%減の3,593千トン、売上高は前期比18.5%減の4,049億11百万円となり、損益面は当期から適用された「棚卸資産の評価に関する会計基準」に基づき、棚卸資産評価損を計上した影響もあり、前期比182億47百万円減の86億52百万円の当期純損失となりました。

〔決算〕

項目	平成20年度 (第71期)	平成19年度 (第70期)	対前年度比較
売上高	404,911百万円	496,707百万円	△ 91,796百万円
営業利益または 営業損失 (△)	△ 8,881百万円	16,623百万円	△ 25,504百万円
経常利益または 経常損失 (△)	△ 7,567百万円	16,106百万円	△ 23,673百万円
当期純利益または 純損失 (△)	△ 8,652百万円	9,595百万円	△ 18,247百万円
配当金	1株当り 50円	1株当り100円	△ 50円/株

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨て表示

[販 売 状 況]

(単位：トン)

項 目	平成20年度 (第71期)	平成19年度 (第70期)	対前年度比
エチレン	617,700	758,500	△ 140,800
プロピレン	503,800	611,200	△ 107,400
B T X	627,400	803,100	△ 175,700
エチレングリコール	162,000	178,800	△ 16,800
M E K	159,300	180,600	△ 21,300
高密度ポリエチレン	87,500	109,900	△ 22,400
そ の 他	1,435,900	1,683,100	△ 247,200
合 計	3,593,600	4,325,200	△ 731,600

(注) 記載数量は、百トン未満を四捨五入表示

以 上

* お問い合わせ先

丸善石油化学株式会社
 人事総務部広報グループ
 TEL：03-3552-9361
 FAX：03-5566-8391